

ふじみ衛生組合新ごみ処理施設建設ニュース

v o L 2 4 平成22年9月発行

ふじみ衛生組合（組織市：三鷹市・調布市）

今月号は、新ごみ処理施設整備事業の「環境影響評価」に係る事業計画の変更についてお知らせします。

1 変更の経緯

新ごみ処理施設整備に係る環境影響評価書については、平成21年11月に公示・縦覧されました。その後、平成22年3月に請負事業者が決定したことにより、施設の詳細設計が確定したため、平成22年7月に東京都に対し、新ごみ処理施設整備事業計画の変更届を提出しました。

2 変更の概要

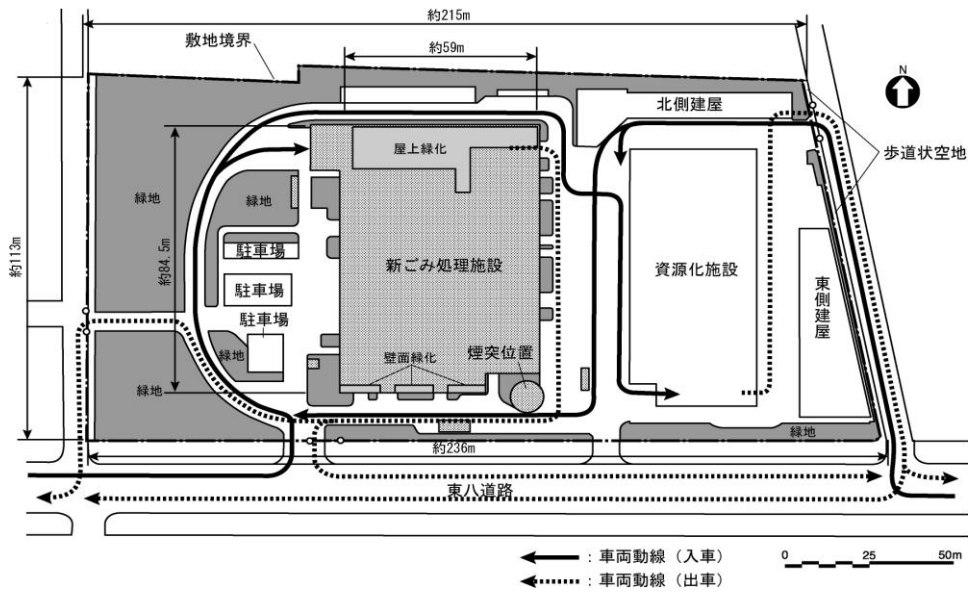
項 目	変更後（図—1）	変更前（図—2）
施設配置計画	駐車場を建設地西側中央寄り及び建設地中央部北寄りに配置、周回道路の線形は楕円形状とする。	駐車場を建設地西側北寄りに配置、周回道路の線形は矩形とする
施設計画	処理フロー 排ガスは、乾式処理（消石灰噴霧）、ろ過式集じん器（バグフィルタ）、脱硝反応塔の順で処理する。 白煙防止対策は実施しない。 洗車排水は、オイルトラップ後、排水処理設備で処理を行い、再利用を図る。プラットホーム洗浄排水は、ごみピットに投入する。ごみピット排水は、ストーカ炉内に噴霧せず、ピット内のごみに含ませ、焼却処理する。	処理フロー 排ガスは、ろ過式集じん器（バグフィルタ）、湿式ガス洗浄装置、脱硝反応塔の順で処理する。 白煙防止対策を実施する。 洗車排水はオイルトラップ後、公共下水道へ放流する。プラットホーム洗浄排水は、排水処理設備にて処理後、プラント用水として再利用する。ごみピット排水は、ストーカ炉内に噴霧する。
	建築物等	<建屋形状> 南北 84.5m×東西 59m (1 階部分の一部のみ東西方向幅 67.5m) <煙突断面形状> 円形（直径 10m）
環境保全計画	緑化計画 屋上部への緑化は、プラットホーム等の屋上のほか、壁面へ緑化を行う。	屋上部への緑化は、プラットホーム等の屋上のうち利用可能な部分とする。
供給施設計画	電気 タービン発電の発電容量は 9,700kW とする。太陽光発電の発電容量は 10kW とする。	タービン発電の発電容量は 7,900kW 以上とする。太陽光発電の発電容量は 10 kW 以上とする。

3 変更の理由

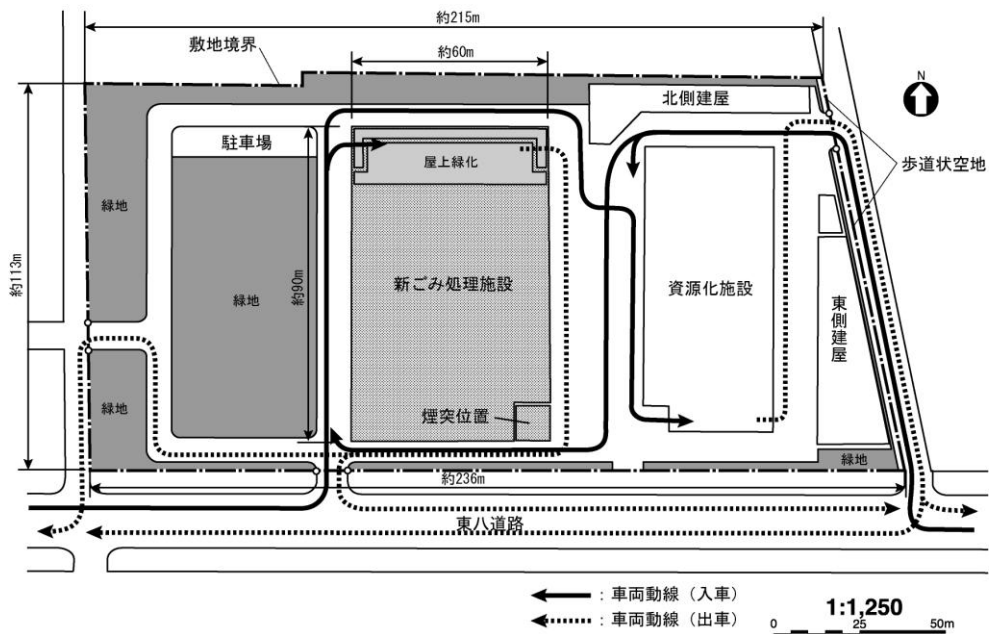
公設民営方式による事業者が J F E エンジニアリング株式会社に決定し、同社との設計協議を進める中で、施設配置計画、施設計画（処理フロー、建築物等）、環境保全計画（緑化計画）、供給施設計画（電気）の内容が確定したことにより変更するものです。

4 施設全体配置図

【変更後（図—1）】



【変更前（図—2）】



- **新ごみ処理施設の工事進捗状況**
 ふじみ新ごみ処理施設建設地は更地となっていました。建設地西側に、J F E エンジニアリング株式会社の現場事務所が建設されました。
 第10回地元協議会から、J F E 現場事務所1階の大会議室が利用できるようになります。
 なお、現場事務所へは、建設地西側の出入口より、入場することができます。

- ◆ **第10回地元協議会開催のお知らせ**
 日時 平成22年10月8日（金） 午後6時30分から
 場所 ふじみ衛生組合敷地内 J F E 現場事務所大会議室

問い合わせ：
 ふじみ衛生組合 新施設建設準備室担当：田中、深井 電話042-490-5374